

## LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### 運用報告書（全体版）

第166期	決算日	2016年6月20日
第167期	決算日	2016年7月19日
第168期	決算日	2016年8月18日
第169期	決算日	2016年9月20日
第170期	決算日	2016年10月18日
第171期	決算日	2016年11月18日

#### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2016年11月18日に第171期の決算を行いましたので、第166期、第167期、第168期、第169期、第170期、第171期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				債組入比率	債券先物比率	純資産総額	
	(分配落)	税金	込配	み金				期騰落
	円		円		%	%	百万円	
142期(2014年6月18日)	8,189		40		△0.5	91.4	△14.7	3,558
143期(2014年7月18日)	8,066		40		△1.0	90.0	△15.1	3,490
144期(2014年8月18日)	8,036		40		0.1	92.4	△15.5	3,421
145期(2014年9月18日)	8,139		40		1.8	92.1	△13.7	3,384
146期(2014年10月20日)	7,937		40		△2.0	92.2	△14.0	3,259
147期(2014年11月18日)	8,393		40		6.2	91.2	△14.5	3,368
148期(2014年12月18日)	8,423		40		0.8	89.1	△6.1	3,313
149期(2015年1月19日)	7,766		40		△7.3	90.4	△6.2	3,027
150期(2015年2月18日)	7,738		40		0.2	89.1	△6.4	2,991
151期(2015年3月18日)	7,287		40		△5.3	89.9	△5.7	2,776
152期(2015年4月20日)	7,235		40		△0.2	86.6	△5.8	2,735
153期(2015年5月18日)	7,647		40		6.2	87.6	△5.8	2,911
154期(2015年6月18日)	7,807		40		2.6	94.7	△5.1	2,914
155期(2015年7月21日)	7,446		40		△4.1	87.2	△5.2	2,743
156期(2015年8月18日)	7,577		40		2.3	86.0	△5.1	2,904
157期(2015年9月18日)	7,469		40		△0.9	90.9	△4.9	2,704
158期(2015年10月19日)	7,391		20		△0.8	94.0	△4.8	2,786
159期(2015年11月18日)	7,137		20		△3.2	96.0	△4.7	2,738
160期(2015年12月18日)	7,198		20		1.1	92.7	△4.2	2,816
161期(2016年1月18日)	6,906		20		△3.8	94.7	△4.3	2,646
162期(2016年2月18日)	6,839		20		△0.7	94.6	△4.4	2,574
163期(2016年3月18日)	6,759		20		△0.9	96.5	△4.0	2,511
164期(2016年4月18日)	6,539		20		△3.0	95.5	△4.1	2,379
165期(2016年5月18日)	6,575		20		0.9	97.1	△4.2	2,358
166期(2016年6月20日)	6,332		20		△3.4	98.4	△3.7	2,240
167期(2016年7月19日)	6,228		20		△1.3	97.3	△3.8	2,166
168期(2016年8月18日)	5,968		20		△3.9	99.1	△3.9	2,049
169期(2016年9月20日)	6,008		20		1.0	98.3	△4.0	2,039
170期(2016年10月18日)	6,008		20		0.3	97.7	△4.0	2,001
171期(2016年11月18日)	6,123		20		2.2	89.0	△4.1	2,015

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	率		
第166期	(期 首) 2016年5月18日	円	%	—	%	%
	5月末	6,575	—	97.1	△4.2	△4.2
	(期 末) 2016年6月20日	6,604	0.4	101.6	△4.2	△4.2
第167期	(期 首) 2016年6月20日	6,352	△3.4	98.4	△3.7	△3.7
	6月末	6,332	—	98.4	△3.7	△3.7
	(期 末) 2016年7月19日	6,089	△3.8	98.4	△3.8	△3.8
第168期	(期 首) 2016年7月19日	6,248	△1.3	97.3	△3.8	△3.8
	7月末	6,228	—	97.3	△3.8	△3.8
	(期 末) 2016年8月18日	6,142	△1.4	97.9	△3.8	△3.8
第169期	(期 首) 2016年8月18日	5,988	△3.9	99.1	△3.9	△3.9
	8月末	5,968	—	99.1	△3.9	△3.9
	(期 末) 2016年9月20日	6,085	2.0	97.1	△3.9	△3.9
第170期	(期 首) 2016年9月20日	6,028	1.0	98.3	△4.0	△4.0
	9月末	6,008	—	98.3	△4.0	△4.0
	(期 末) 2016年10月18日	5,981	△0.4	99.2	△4.0	△4.0
第171期	(期 首) 2016年10月18日	6,028	0.3	97.7	△4.0	△4.0
	10月末	6,008	—	97.7	△4.0	△4.0
	(期 末) 2016年11月18日	6,046	0.6	98.2	△4.1	△4.1
		6,143	2.2	89.0	△4.1	△4.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

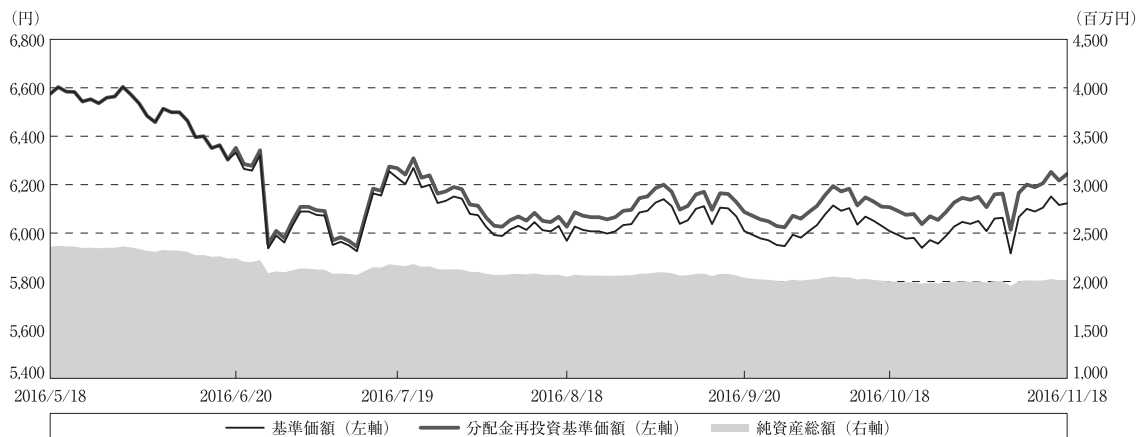
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2016年5月19日～2016年11月18日)



第166期首：6,575円

第171期末：6,123円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：△5.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年5月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

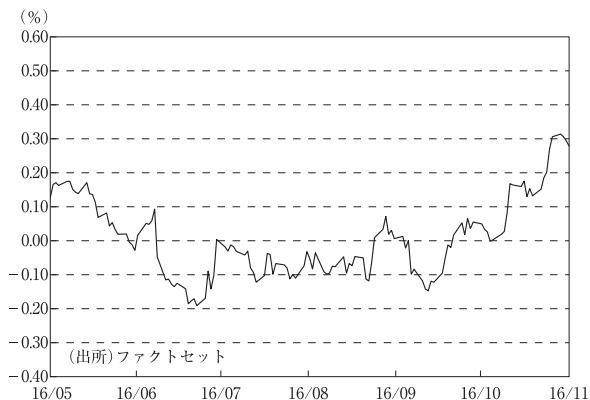
## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2016年11月18日）のLM・ユーロ毎月分配型ファンド（以下、当ファンド）の基準価額（分配金控除後）は6,123円となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス5.0%（分配金再投資ベース）、基準価額は332円（分配金込み）下落しました。

公社債利金を手堅く確保しましたが、ユーロ安・円高を受けて為替損益がマイナスとなったことが、基準価額の主な下落要因となりました。

当作成期の欧州債券市場は、短期債利回りが低下（価格は上昇）する一方、中長期債利回りは上昇（価格は下落）しました。期の前半は、英国の欧州連合（EU）離脱の是非を問う国民投票の結果、予想に反して英国のEU離脱が決定し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、債券買いが膨らみ、利回りは大きく低下しました。期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）が追加金融緩和に消極的な姿勢を示したことが材料視される中、利回りが上昇する場面も見られましたが、利回りは総じて横ばいでの推移となりました。期の後半は、大手独銀行の経営不安を背景に株式相場が下落し、安全資産として債券買いが強まったことから、利回りは低下しました。しかしその後は、ECBによる量的緩和縮小の思惑などを背景に利回りは上昇に転じました。さらに当作成期末にかけては、米大統領選挙で共和党のトランプ氏が勝利し、財政拡大観測などから米国の国債利回りが上昇した影響で、ドイツの国債利回りも上昇基調となりました。

ドイツ10年国債利回りの推移

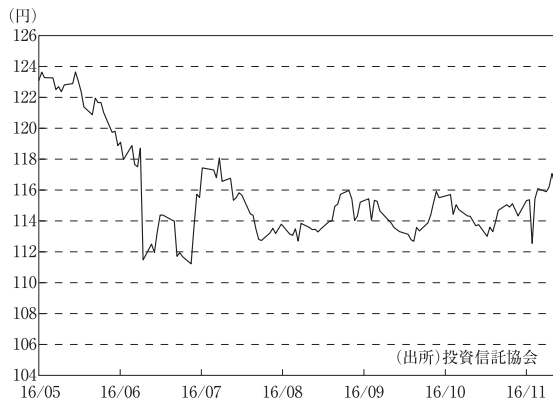


社債セクターは、英国のEU離脱を巡る不透明感を背景に投資家のリスク回避姿勢が意識された局面で、社債スプレッド（国債に対する上乘せ利回り）が拡大する場面が見られました。しかしその後は、独株式相場が底堅く推移したことなどに支えられ、スプレッドは小幅縮小となりました。

資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、やや軟調な展開となり、スプレッドは若干拡大しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、英国のEU離脱決定を受け、欧州経済の先行き不透明感や金融市場の混乱への警戒感が強まったことなどから、リスク回避に伴う円買いが進行し、ユーロは対円で大きく下落しました。期の半ばは、英中央銀行による大規模な金融緩和策の決定を受けて、ECBによる追加緩和の思惑が強まったことから、ユーロ売り・円買いが一時優勢となりました。しかし、ECBが追加金融緩和に消極的な姿勢を示したことを受けて利回りが上昇すると、ユーロ買いが強まるなど、

ユーロ／円相場の推移



ユーロ・円相場は概ねレンジ内での推移となりました。期の後半は、大手独銀行の経営不安を背景にリスク回避姿勢が強まり、ユーロ売り・円買いが一時強まりました。当作成期末にかけては、米大統領選挙で事前の世論調査に反して共和党のトランプ氏が勝利し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが一時的に強まる場面が見られました。しかしその後は、株式相場が世界的に上昇する中、市場全般で円安傾向が強まり、ユーロも対円で上昇傾向となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2016年5月19日～2016年11月18日)

当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月18日	2016年10月19日～ 2016年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.315%	20 0.320%	20 0.334%	20 0.332%	20 0.332%	20 0.326%
当期の収益	2	1	1	4	3	4
当期の収益以外	17	18	18	15	16	15
翌期繰越分配対象額	1,354	1,336	1,317	1,302	1,285	1,270

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

2016年7-9月期のユーロ圏の実質GDP成長率(改定値)は前期比+0.3%と、4-6月期と同水準の伸びとなりました。英国のEU離脱選択が景気見通しの下振れリスクとして意識されていましたが、現在のところ域内経済への影響は限定的なものとなっています。

金融政策については、ECBは2016年3月の理事会で包括的な追加金融緩和を決定しました。今後も景気動向に配慮した政策運営を継続するものと見込まれます。

社債セクターについては、底堅い展開が見込まれます。欧州経済は依然低迷していますが、ECBの景気に配慮した金融政策等が社債セクターを下支えするものと予想されます。ABS/MBSセクターについても、社債セクター同様、底堅い展開が予想されます。

こうした環境下、当ファンドはこれまでと同様に、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、引き続き運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年5月19日～2016年11月18日)

項 目	第166期～第171期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 13	% 0.218	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 6 )	( 0.098 )	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 6 )	( 0.098 )	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	( 0.022 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 0 )	( 0.000 )	
(c) そ の 他 費 用	2	0.032	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	( 0.007 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	( 0.009 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	( 1 )	( 0.016 )	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出 に係る費用
合 計	15	0.250	
作成期間の平均基準価額は、6,157円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2016年5月19日～2016年11月18日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第166期～第171期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		9,204	11,744	188,332	239,048

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年5月19日～2016年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2016年5月19日～2016年11月18日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年5月19日～2016年11月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2016年11月18日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第165期末	第171期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		1,758,917	1,579,789	2,023,394

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2016年11月18日現在)

項 目	第171期末	
	評 価 額	比 率
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	千円 2,023,394	% 100.0
コール・ローン等、その他	286	0.0
投資信託財産総額	2,023,680	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,229,326千円)の投資信託財産総額(2,239,931千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=116.93円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末
	2016年6月20日現在	2016年7月19日現在	2016年8月18日現在	2016年9月20日現在	2016年10月18日現在	2016年11月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,256,890,229	2,176,630,139	2,060,535,762	2,053,302,598	2,009,361,831	2,023,680,659
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	2,248,776,295	2,174,469,442	2,056,834,414	2,047,529,371	2,009,060,331	2,023,394,666
未収入金	8,113,934	2,160,697	3,701,348	5,773,227	301,500	285,993
(B) 負債	16,201,685	9,935,759	11,402,958	13,466,465	7,713,771	7,689,066
未払収益分配金	7,077,567	6,957,751	6,867,093	6,790,202	6,663,171	6,585,143
未払解約金	8,113,934	2,160,697	3,701,348	5,773,227	301,500	285,993
未払信託報酬	906,219	731,299	747,630	808,740	670,851	732,950
その他未払費用	103,965	86,012	86,887	94,296	78,249	84,980
(C) 純資産総額(A-B)	2,240,688,544	2,166,694,380	2,049,132,804	2,039,836,133	2,001,648,060	2,015,991,593
元本	3,538,783,699	3,478,875,840	3,433,546,537	3,395,101,290	3,331,585,849	3,292,571,868
次期繰越損益金	△1,298,095,155	△1,312,181,460	△1,384,413,733	△1,355,265,157	△1,329,937,789	△1,276,580,275
(D) 受益権総口数	3,538,783,699口	3,478,875,840口	3,433,546,537口	3,395,101,290口	3,331,585,849口	3,292,571,868口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,332円	6,228円	5,968円	6,008円	6,008円	6,123円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

当作成期首元本額 3,586,780,319円

当作成期中追加設定元本額 19,009,374円

当作成期中一部解約元本額 313,217,825円

(注2) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,276,580,275円であります。

## ○損益の状況

項 目	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月18日	2016年10月19日～ 2016年11月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 77,814,181	△ 28,283,519	△ 81,626,076	21,339,872	7,385,295	45,186,215
売買益	570,238	986,037	649,888	21,843,609	8,110,842	45,846,323
売買損	△ 78,384,419	△ 29,269,556	△ 82,275,964	△ 503,737	△ 725,547	△ 660,108
(B) 信託報酬等	△ 1,010,184	△ 817,311	△ 8,834,517	△ 903,036	△ 749,100	△ 817,930
(C) 当期損益金(A+B)	△ 78,824,365	△ 29,100,830	△ 82,460,593	20,436,836	6,636,195	44,368,285
(D) 前期繰越損益金	△1,073,234,434	△1,132,549,234	△1,146,094,679	△1,214,236,004	△1,171,847,553	△1,151,632,587
(E) 追加信託差損益金	△ 138,958,789	△ 143,573,645	△ 148,991,368	△ 154,675,787	△ 158,063,260	△ 162,730,830
(配当等相当額)	( 485,330,719)	( 471,144,368)	( 458,777,588)	( 447,439,499)	( 433,886,205)	( 423,410,571)
(売買損益相当額)	(△ 624,289,508)	(△ 614,718,013)	(△ 607,768,956)	(△ 602,115,286)	(△ 591,949,465)	(△ 586,141,401)
(F) 計(C+D+E)	△1,291,017,588	△1,305,223,709	△1,377,546,640	△1,348,474,955	△1,323,274,618	△1,269,995,132
(G) 収益分配金	△ 7,077,567	△ 6,957,751	△ 6,867,093	△ 6,790,202	△ 6,663,171	△ 6,585,143
次期繰越損益金(F+G)	△1,298,095,155	△1,312,181,460	△1,384,413,733	△1,355,265,157	△1,329,937,789	△1,276,580,275
追加信託差損益金	△ 145,032,473	△ 149,884,131	△ 155,263,313	△ 159,957,691	△ 163,522,328	△ 167,858,824
(配当等相当額)	( 479,257,824)	( 464,834,353)	( 452,506,113)	( 442,158,203)	( 428,427,616)	( 418,283,194)
(売買損益相当額)	(△ 624,290,297)	(△ 614,718,484)	(△ 607,769,426)	(△ 602,115,894)	(△ 591,949,944)	(△ 586,142,018)
繰越損益金	△1,153,062,682	△1,162,297,329	△1,229,150,420	△1,195,307,466	△1,166,415,461	△1,108,721,451

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

### <分配金の計算過程>

決 算 期	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	1,003,883	647,265	595,148	1,508,298	1,204,103	1,457,149
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	485,331,508	471,144,839	458,778,058	447,440,107	433,886,684	423,411,188
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	486,335,391	471,792,104	459,373,206	448,948,405	435,090,787	424,868,337
(1万円当たり収益分配対象額)	( 1,374)	( 1,356)	( 1,337)	( 1,322)	( 1,305)	( 1,290)
収益分配金	7,077,567	6,957,751	6,867,093	6,790,202	6,663,171	6,585,143
(1万円当たり収益分配金)	( 20)	( 20)	( 20)	( 20)	( 20)	( 20)

## ○分配金のお知らせ

	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

### ◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

### ◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年11月18日現在）

<LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド>

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(1,748,602千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第171期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	1,700	1,708	199,724	8.9	—	—	5.3	3.7
オランダ	3,290	3,300	385,974	17.2	—	—	4.1	13.1
フィンランド	1,400	1,438	168,220	7.5	—	—	—	7.5
アイルランド	1,000	1,003	117,320	5.2	—	—	—	5.2
その他	9,360	9,524	1,113,662	49.7	—	—	21.1	28.6
合 計	16,750	16,975	1,984,903	88.6	—	—	30.5	58.1

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第171期末					償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANQUE FED CRED MUTU FRN	—	700	700	81,915	2017/3/23	
		BANQUE FED CRED MUTU FRN	0.171	1,000	1,007	117,809	2020/6/3	
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	BMW FINANCE NV FRN	0.049	1,000	1,000	116,987	2017/4/4	
		ING BANK NV	4.25	800	805	94,148	2017/1/13	
		SHELL INTL FIN FRN	0.098	790	793	92,781	2019/9/15	
		UNILEVER NV FRN	—	700	701	82,058	2018/6/3	
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	OP CORPORATE BANK PLC	3.0	900	922	107,900	2017/9/8	
		OP CORPORATE BANK PLC	1.75	500	515	60,320	2018/8/29	
アイルランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	GE CAPITAL EURO FUND FRN	0.099	1,000	1,003	117,320	2018/6/19	
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	COLGATE-PALMOLIVE CO FRN	—	700	702	82,094	2019/5/14	
		COMMONWEALTH BANK AUST	1.625	1,000	1,035	121,033	2019/2/4	
		CREDIT SUISSE GU CS	2.875	600	634	74,178	2018/10/18	
		JPMORGAN CHASE & CO FRN	0.296	700	701	82,068	2017/6/12	
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.259	1,000	1,012	118,355	2021/4/19	
		NORDEA BANK AB	2.25	1,600	1,633	191,029	2017/10/5	
		SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.302	1,280	1,296	151,572	2020/5/26	
		SVENSKA HANDELSBANKEN AB	2.25	500	518	60,604	2018/6/14	
		TORONTO-DOMINION BAN FRN	—	780	781	91,324	2017/6/16	
		UBS AG LONDON	0.5	1,200	1,209	141,400	2018/5/15	
		合 計					1,984,903	

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			第 171 期末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債 (2年) 2016.12 限月	百万円 -	百万円 91

(注 1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注 2) 単位未満は切捨て。

# LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第14期 決算日 2016年2月18日

(計算期間：2015年2月19日～2016年2月18日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第14期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。 2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-/Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2/P2格以上の格付けを有するものとします。
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
10期(2012年2月20日)	11,133	△5.6		97.3	△12.7	7,946
11期(2013年2月18日)	13,445	20.8		93.6	△20.2	7,109
12期(2014年2月18日)	15,156	12.7		97.0	△30.3	4,849
13期(2015年2月18日)	14,817	△2.2		88.6	△6.3	3,583
14期(2016年2月18日)	13,852	△6.5		94.3	△4.4	2,906

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首) 2015年2月18日	円		%	%	%
2月末	14,817	—		88.6	△6.3
3月末	14,566	△1.7		89.1	△6.4
4月末	14,209	△4.1		87.5	△5.8
5月末	14,421	△2.7		86.1	△5.8
6月末	14,781	△0.2		94.2	△5.9
7月末	14,951	0.9		91.5	△5.2
8月末	14,792	△0.2		83.9	△5.0
9月末	14,827	0.1		89.8	△5.3
10月末	14,701	△0.8		92.8	△4.9
11月末	14,475	△2.3		91.5	△4.7
12月末	14,168	△4.4		89.0	△4.4
2016年1月末	14,368	△3.0		94.0	△4.3
(期末) 2016年2月18日	14,423	△2.7		95.0	△4.3
	13,852	△6.5		94.3	△4.4

(注1) 騰落率は期首比です。

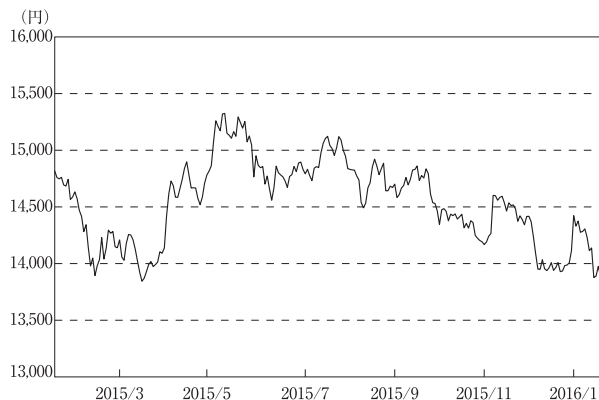
(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。



## ○運用経過

### 期中の基準価額の推移

(2015年2月19日～2016年2月18日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期末（2016年2月18日）のLM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は13,852円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス6.5%、基準価額は965円下落しました。

公社債利金を手堅く確保しましたが、ユーロ・円相場がユーロ安・円高となったことから、為替損益はマイナスとなりました。

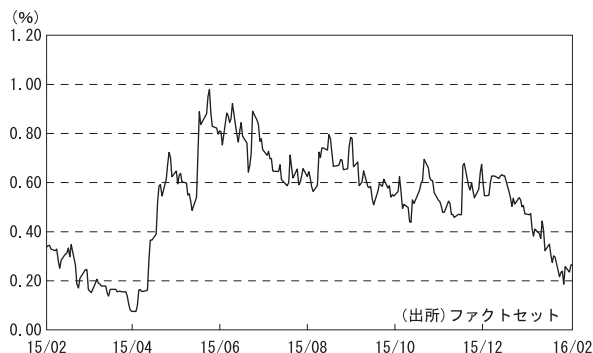
欧州債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。期の前半は、欧州中央銀行（ECB）が国債購入を含む量的金融緩和策（QE）を開始したことを受けて、利回りは低下基調となりました。しかしその後は、QEを背景とした急速な利回り低下に対する懸念が膨らむ中、利回りは上昇（価格は下落）に転じました。さらに、ユーロ圏の消費者物価指数（CPI）が前年比プラスに転じ、デフレ懸念が後退したことから、利回りの上昇が加速しました。期の半ばは、株式相場が世界的に下落し、安全資産としての債券買いが優勢となったことから、利回りは低下しました。その後、利回りは上昇する場面も見られましたが、ドイツ自動車大手の排ガス不正問題などから株式相場が低迷する中、再び低下基調となりました。期の後半は、ECBが追加緩和を決定しましたが、その内容が市場の期待外れだったことから失望売りが広がり、利回りは上昇する場面が見られました。しかしその後は、世界的な株安や原油価格の下落が進み、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、安全資産としての債券が買われ、利回りは低下しました。

社債セクターは、軟調となりました。当期は、株式相場や原油価格が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は拡大しました。

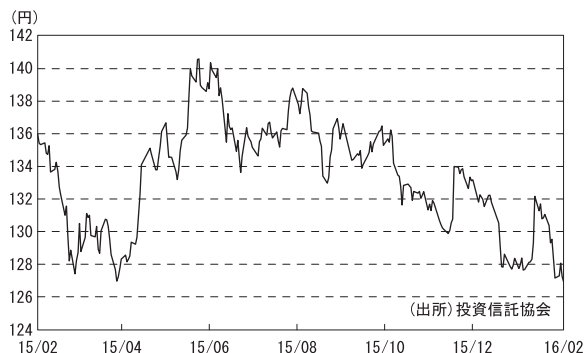
資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場についても、軟調となりました。社債セクター同様、リスク回避姿勢の強まりを背景に、スプレッドは拡大しました。

ユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、ECBによるQE開始を受けて欧州の国債利回りが低下基調となる中、ユーロは対円で軟調となりました。しかしその後は、ドイツの国債利回りが大きく上昇する中、ユーロ買い・円売りが強まりました。ユーロ圏のCPIが前年比プラスに転じ、欧州のデフレ脱却期待が膨らんだことも、ユーロ買いを促す要因となりました。期の半ばは、株式相場が世界的に下落し、リスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが強まりました。その後も、ドイツ自動車大手の排ガス不正問題などを背景に、ユーロは上値の重い展開となりました。期の後半は、ECBによる追加緩和策が市場の期待外れとなったことや、日銀が追加緩和策としてのマイナス金利の導入を決定したことなどから、ユーロは対円で上昇する場面も見られましたが、世界的な株安や原油価格の下落が続く中、下落基調となりました。

ドイツ10年国債利回りの推移



ユーロ／円相場の推移



## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-／Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-／A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入れ債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

## ○今後の運用方針

欧州経済については、ユーロ圏の2015年10-12月期GDP成長率（速報値）は前期比プラス0.3%とプラス成長を維持しましたが、依然として低成長が続いています。ECBがQEを継続する中、今後の景気動向が注目されます。

金融政策については、ECBは2015年12月の理事会で追加の金融緩和を決定しました。ECBは今後も景気動向に配慮した政策運営を継続するものと見込まれます。

社債セクターについては、底堅い展開が見込まれます。欧州経済の先行きについては依然厳しいものの、超緩和的な金融政策等が社債セクターを下支えするものと予想されます。ABS／MBSセクターについては、欧州の景気回復が遅れているものの、投資対象として相対的に魅力があると思われることから、社債セクター同様、底堅い展開が予想されます。

こうした環境下、当ファンドはこれまでと同様に、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、引き続き運用に注力していく所存です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年2月19日～2016年2月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	2 (2)	0.017 (0.017)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、14,556円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2015年2月19日～2016年2月18日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ユーロ			
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	700	3,111 (1,500)
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	3,075	200 (1,300)
	フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	1,467	—
	その他	社債券(投資法人債券を含む)	6,976	1,812 (5,800)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## その他有価証券

			買付額	売付額
外国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
		コマーシャル・ペーパー	499	499
		譲渡性預金証書	499	500 (2,000)

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 639	百万円 728

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年2月19日～2016年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年2月18日現在)

## 外国公社債

### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	1,400	1,399	177,697	6.1	-	-	-	6.1
オランダ	4,990	5,040	639,744	22.0	-	-	6.5	15.5
フィンランド	1,400	1,461	185,455	6.4	-	-	2.3	4.1
アイルランド	1,000	1,001	127,166	4.4	-	-	4.4	-
その他	12,430	12,690	1,610,842	55.4	-	-	20.1	35.4
合 計	21,220	21,593	2,740,906	94.3	-	-	33.2	61.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANQUE FED CRED MUTU FRN SOCIETE GENERALE FRN	0.04 0.219	700 700	699 700	88,814 88,882	2017/3/23 2016/3/28
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	BMW FINANCE NV FRN ING BANK NV RABOBANK NEDERLAND FRN SHELL INTL FIN FRN UNILEVER NV FRN	0.218 4.25 0.264 0.272 0.064	1,000 1,500 1,000 790 700	999 1,556 1,001 782 699	126,917 197,567 127,124 99,316 88,819	2017/4/4 2017/1/13 2016/11/18 2019/9/15 2018/6/3
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	POHJOLA BANK PLC POHJOLA BANK PLC	3.0 1.75	900 500	941 519	119,483 65,971	2017/9/8 2018/8/29
アイルランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	GE CAPITAL EURO FUND FRN	0.267	1,000	1,001	127,166	2018/6/19
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	AUST & NZ BANKING FRN BANK OF NOVA SCOTIA FRN COLGATE-PALMOLIVE CO FRN COMMONWEALTH BANK AUST CREDIT SUISSE GU CS JPMORGAN CHASE & CO FRN MACQUARIE BANK FRN NORDEA BANK AB PACCAR FINANCIAL COR FRN SVENSKA HANDELSBANKEN AB TORONTO-DOMINION BAN FRN UBS AG LONDON WESTPAC BANKING FRN	0.198 0.199 0.047 4.25 2.875 0.475 0.304 2.25 0.249 2.25 0.151 0.5 0.161	1,000 1,000 700 1,000 1,000 700 1,000 1,600 950 500 780 1,200 1,000	1,001 1,001 698 1,087 1,075 702 1,000 1,657 950 524 780 1,208 1,001	127,091 127,088 88,666 137,972 136,534 89,229 127,002 210,419 120,655 66,570 99,127 153,366 127,116	2016/10/4 2016/9/30 2019/5/14 2018/4/6 2018/10/18 2017/6/12 2016/4/24 2017/10/5 2016/6/24 2018/6/14 2017/6/16 2018/5/15 2016/11/10
合 計						2,740,906	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
外 国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2016.3限月	百万円 —	百万円 127

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2016年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,740,906	94.3
コール・ローン等、その他	166,160	5.7
投資信託財産総額	2,907,066	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(2,904,835千円)の投資信託財産総額(2,907,066千円)に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=126.93円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2015年2月19日～2016年2月18日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年2月18日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	2,929,903,767
コール・ローン等	149,536,062
公社債(評価額)	2,740,906,111
未収入金	22,913,045
未収利息	7,078,156
前払費用	5,376,755
差入委託証拠金	4,093,638
(B) 負債	23,495,466
未払金	22,978,772
未払解約金	516,694
(C) 純資産総額(A-B)	2,906,408,301
元本	2,098,136,235
次期繰越損益金	808,272,066
(D) 受益権総口数	2,098,136,235口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,852円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

期首元本額	2,418,604,769円
期中追加設定元本額	689,084,904円
期中一部解約元本額	1,009,553,438円

(注2) 期末における元本の内訳

LM・ユーロ毎月分配型ファンド	1,864,968,063円
LM・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用)	233,168,172円

○損益の状況 (2015年2月19日～2016年2月18日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	36,982,039
受取利息	36,982,039
(B) 有価証券売買損益	△ 236,042,126
売買益	4,851,620
売買損	△ 240,893,746
(C) 先物取引等取引損益	△ 722,461
取引益	40,084
取引損	△ 762,545
(D) 保管費用等	△ 539,290
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 200,321,838
(F) 前期繰越損益金	1,165,126,559
(G) 追加信託差損益金	308,729,332
(H) 解約差損益金	△ 465,261,987
(I) 計(E+F+G+H)	808,272,066
次期繰越損益金(I)	808,272,066

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。